

沼津市公式観光ポータルサイトリニューアル業務委託に関する質問への回答

番号	質問事項	回答
2	<p>「2027 年 4 月以降の運用・保守費用については、月額費用の目安を提案書に含めること」とありますが、こちらは 10 ページ以内の「企画提案書」の中に記載すべきでしょうか。</p> <p>それとも別紙の「見積書」の中に参考見積として記載する（または今年度分と次年度以降分の 2 枚提出する）形でもよろしいでしょうか。</p>	<p>仕様書の「2.3 費用の考え方 (5)」において、「2027 年 4 月以降の運用・保守費用については、月額費用（または年額費用）の目安を提案書に含めること」と指定しています。</p> <p>10 ページ以内で作成する企画提案書の中に費用対効果などをアピールする項目を設け、そこに目安額を記載し、詳細な内訳は、提出書類⑤「見積書」の中に参考見積として記載する形にしてください。</p>
3	<p>実施要領 P4 にて「自社名を入れず(入っている場合は受け付けない)」との完全ブラインド審査のルールがありますが、企画提案書内に過去の実績・他市の参考事例を記載する際、具体的な自治体名(例:「〇〇市公式観光サイトでも搭載した機能です」など)を記載することは、自社名を特定させる行為とみなされ失格要件に該当しますか。</p> <p>それとも「A 県 A 市でも搭載した機能です」のように匿名で記載すべきでしょうか。</p>	<p>実施要領の「9 企画提案書等の提出」には、「すべて自社名を入れず(入っている場合は受け付けない)」という完全ブラインド審査のルールを定めているため、「過去の類似実績(事例)」の提示について、具体的な自治体名と導入機能の組み合わせを記載すると、審査員が容易に御社を特定できてしまう可能性があるため、「人口〇万人規模の A 県 B 市」といった形で、特定されない程度に表現をぼかして記載してください。</p>

4	<p>本工程は、新しいサーバー環境や CMS の土台作り(システム構築)までを指すものでしょうか。それとも、この段階で現在公開・運用中のサイトを新しい基盤(環境)へ切り替える(スイッチオーバーする)作業までを含むものでしょうか。後続の(2)「リニューアル」や(3)「データ移行」工程との役割分担を含め、本工程で完了すべき状態の定義をお聞かせください。</p>	<p>本工程である「基盤刷新」は、新しい基盤の構築から各種テストまでを完了させることを指しており、実際の切り替え(スイッチオーバー)はその後続のマイルストーンとして設定しています。</p> <p>仕様書の「2.1 履行期間・スケジュール(案)」に示している「基盤刷新(設計・構築・単体・結合試験完了)」の期限は2026年9月30日としていること。また、同仕様書の「1.4 本業務におけるプロポーザルの範囲」において、基盤刷新の対象にはサーバー・OS・CMS移行、インフラ設計・構築、データ移行、初期セットアップ、単体・結合試験支援などが含まれています。</p> <p>以上から、9月30日までの工程でデータ移行や受入試験(UAT)を含むすべてのテストを終えて「本番稼働できる状態」に仕上げ、10月1日以降に先進技術導入を実施していくというスケジュールになります。</p> <p>ただし、データ移行については移行後のデータが確認・テストできる環境が構築されておればよく、全件のデータ移行スケジュールについては契約候補者と契約仕様書を協議する際に決定します。</p> <p>なお、実際の切り替え(スイッチオーバー)は、市、契約候補者、現在の保守・運營業務受託者と調整し定めるものとします。</p>
---	---	--